

秋の三者総会議案書 ver.4

2002年度三者事務局

平成13年10月12日

目次

第 1 章	活動報告、会計報告、承認	2
1.1	2001 年度三者準備校 (東北大学)	2
1.1.1	最終決算報告	2
1.1.2	思ったこと	4
1.2	2001 年度 三者センター校 (大阪大学)	4
1.3	2001 年度三者名簿校 (大阪市立大学) 決算報告	8
1.4	2001 年度 三者事務局 (東京大学)	8
1.4.1	2003 年度名簿校・2004 年度センター校・準備校の承認	8
1.5	夏の学校での活動報告& アンケート結果 [セクハラ対策 WG]	8
1.5.1	夏の学校で行ったこと	8
1.5.2	相談窓口の活動報告	9
1.5.3	茶話会	9
1.5.4	対策に関するアンケート結果	10
第 2 章	2002 年度夏の学校予算案【2002 年度三者センター校 (京都大学)】	11
2.1	収入予定	11
2.2	支出予定	12
第 3 章	2002 年度 三者準備校 (名古屋大学) からの議案	16
3.1	2002 年度夏の学校、開催地及び日程について	16
3.2	夏の学校での飲酒について	16

第1章 活動報告、会計報告、承認

1.1 2001年度三者準備校(東北大学)

文責 : 柿崎 充 (東北大学)

1.1.1 最終決算報告

1. 準備校活動費

収入の部

項目	予算	決算
センター校より	230,000	230,000
計	230,000	230,000

- ホテルの前金が必要になったため、センター校より 100,000 円借りた。

支出の部

項目	予算	決算
下見・契約代	35,000	36,570
郵送料	35,000	37,523
コピー代	50,000	42,000
文具代	10,000	15,005
ホテル前金	100,000	100,000
リース代	0	133,000
印鑑代	0	23,520
手数料等	0	0
計	230,000	387,618

- ホテルの前金のために借りた 100,000 円は、センター校に返した。
- 三者準備校の郵便口座を開設するときにゴム印を使ったら、郵便局員に文句を言われたので、新たに印鑑を作った。また、木島平で夏の学校のゴム印を失くしたので、買い直した。実は、個人の名義で口座を開設してもよいということを知ったのは、印鑑を作ってから知った。ちなみに素粒子論グループはこのようにしているそうである。

$$\text{収入} - \text{支出} = 230,000 - 387,618 = -157,618 \text{ 円}$$

これは予算からの赤字であり、赤字分は三者センター校に事後申請する。

2. ポスター製作費

収入の部

項目	予算	決算
基研より	100,000	100,000
計	100,000	100,000

支出の部

項目	予算	決算
ポスター製作費	100,000	46,200
基研に返却	0	53,800
計	100,000	100,000

- 余ったお金 53,800 円は基研に返した。

$$\text{収入} - \text{支出} = 100,000 - 100,000 = 0 \text{ 円}$$

3. 夏の学校費用

収入の部

項目	
ホテル代 ^(注1)	6,922,585
参加費	873,000
計	7,795,585

(注1) ホテル代には M1 懇親会等の費用も含まれる。

支出の部

項目	
ホテル代 ^(注2)	6,909,190
雑費 ^(注3)	3,400
手数料	0
計	6,912,590

手数料にはキャンセルの返金分は含まれない。キャンセル分の手数料は各自に負担してもらった。

(注2) ホテル代には M1 懇親会等の費用も含まれる。

(注3) ホテルでのコピー代。

$$\text{収入} - \text{支出} = 7,795,585 - 6,912,590 = 882,995 \text{ 円}$$

この余りはほとんどそのまま参加費である。これは夏の学校活動費と学生旅費補助にまわされる。(後述)

4. 学生旅費補助

素粒子論グループからの援助、基研講師旅費補助余り、夏の学校費用の余りから運営費を引いた額は約 1,356,382 円となっている。一方、旅費補助は総額で 1,403,780 円を予定している。このままでは -47,398 円の赤字だが、旅費補助を受けとらない人もいるので、最終的に今年度の残高がびったり 0 円になることを期待している。

$$\text{収入} - \text{支出} = 1,356,382 - 1,403,780 = -47,398 \text{ 円}$$

1.1.2 思ったこと

例年三者準備校が現地で行なってきた業務の一部（食券の check、バスの添乗員、本部の留守番）を、今年是一般参加者にも手伝ってもらった。また、本部を解放した。去年までは、一般参加者は裏方の人の顔も知らずに終わっていたので、学生が運営しているということ意識していなかったと思う。今年是一般参加者も働いたので、学生が仕事をしているということがわかってもらえてると思う。

例年夏の学校は 7 月に開催しているが、今年は 8 月にしてみた。理由は何度か述べてきたように以下の二つである。

- ・ 7 月はまだ授業中の大学もある。
- ・ 8 月は実験装置がストップするので、実験の学生が参加しやすい。

蓋を開けてみると、たしかに高エネパートの参加者は若干増えたが、逆に全参加者数は約 50 人減った。やっぱり 7 月の方がいいのかもしれない。しかし、7 月に開催すると、また上のような反対意見が出るので、8 月の方が無難だと思う。ただし、8 月開催は学会まで時間がないため、役職校は辛い。（後述）

例年旅費の補助額は夏の学校開催前に決定されるが、今年は、繰越金問題のため夏の学校後に決めた。この方法だと、旅費補助以外のお金の収支が全て決まってからでないと、補助額を決められないため、旅費補助の受けとりが遅くなってしまいうというデメリットがある。（去年は 8 月中旬には補助を受けとれた。）特に今年は、夏の学校開催が遅かったため、旅費補助に使える金額が決まったのは学会の 2 週間前だった。だから今、旅費補助に関する雑用をしているのだが学会発表を控えているのでちょっと辛い。決算報告は学会が dead line なのでそれまでにこの雑用を終わらせなければならないのである。（じゃあ、もっと早くから発表の準備しとけよ、という意見もある。）旅費補助額を夏の学校終了後に決定すると、準備校が辛いことは否めない。

2001/9/12

1.2 2001 年度 三者センター校（大阪大学）

2000 年度夏の学校決算見積もり（2001.9.17 現在）

文責:進藤 哲央

前年度繰越金:2,782,408 円

2001 年度収入

項目	金額
基研援助（旅費補助）	484,640
基研援助（ポスター印刷代）	46,200
素粒子論グループ援助	450,000
参加費（291 人 × 3,000）	873,000
合計	1,853,840

2001 年度支出見込み

項目	金額
講師旅費	81,480
ポスター印刷費	46,200
三者事務局	4,990
三者センター校	2,880
三者準備校	287,618
三者名簿校	0
三者 ML・HP 校	0
素粒子パート事務局	0
素粒子パート準備校	17,000
原子核パートセンター校	0
原子核パート準備校	61,745
高エネルギーパート準備校	4,650
合計	506,563

役職校支出内訳

三者センター校（大阪大）

項目	予算	決算
振込手数料	10,000	1120
コピー代	0	1,080
トラベ代	0	680
合計	10,000	2,880

三者準備校（東北大）

項目	予算	決算
下見・契約代	35,000	36,570
郵送料	35,000	37,523
コピー代	50,000	42,000
文具代	10,000	15,005
ホテル前金	100,000	100,000
リース代	0	133,000
印鑑代	0	23,520
手数料等	0	0
計	230,000	387,618

- ホテル前金は一時借入れ金である。このため純粋な支出は 287,618 円となる。

三者事務局（東大）

項目	予算	決算
振込手数料	500	70
切手代	1,000	120
コピー代	3,500	4,800
支出合計	5,000	4,990

三者名簿校（大阪市立大）

項目	予算	決算
合計	0	0

三者 ML・Web 管理校（茨城大）

項目	予算	決算
合計	0	0

原子核パートセンター校

項目	予算	決算
合計	0	0

原子核パート準備校(京大)

項目	予算	決算
諸費用	10,000	1675
Review talker への謝礼	30,000	30,000
topics 講師への謝礼	30,000	30,000
振込み手数料	0	70
合計	70,000	61,745

素粒子論パート事務局(名大)

項目	予算	決算
合計	0	0

素粒子パート準備校(金沢大)

項目	予算	決算
録音関係費(ビデオテープ、ノート等)	20,000	14100 円
通信関係費(ビデオ郵送、振込手数料)	5,000	1150 円
研究会費(ポスターセッションの模造紙等)	15,000	1750 円
合計	40,000	17000 円

高エネルギーパート準備校(奈良女子大)

項目	予算	決算
コピー代	8,000	2,050
トラベ郵送費	20,000	2,480
振込み手数料	0	120
支出合計	28,000	4,650

参加者への旅費補助総計(予定):1,403,780 円

残額

収入	1,853,840
支出	1,910,343
残高	-56,503

1.3 2001 年度三者名簿校 (大阪市立大学) 決算報告

文責：森下 正則 (大阪市立大学)
morisita@ocump.hep.osaka-cu.ac.jp

	項目	金額	備考
収入	名簿代金	234,800	400 円/冊 × 587 冊
	郵送料金	52,750	
	'00 年度繰越金	83,430	
支出	名簿印刷費	240,000	400 円/冊 × 600 冊
	郵送料金	53,094	冊子小包、ゆうパック
	収入 - 支出	77,886	

- 上記は代金未納などのない最終決算です。
- 2002 年度への繰越金は、前年度より 5,544 円減らし 77,886 円となりました。これは 2001 年春の三者総会の議題を受けて、繰越金を減らす方針で運営を行ったためです。
- 次年度以降へは、繰越金が大幅に変化しないよう運営する方針で引き継ぎます。この方針に対しては、2001 年度夏の学校三者総会において若手の異論がないことを確認しました。

1.4 2001 年度 三者事務局 (東京大学)

1.4.1 2003 年度名簿校・2004 年度センター校・準備校の承認

以下の役職校の選定に対して承認をお願いします。

2003 年度名簿校 : 早稲田大学
2004 年度準備校 : 金沢大学
2004 年度センター校 : 東京大学

文責 : 2001 年度 三者事務局 (東京大学)

1.5 夏の学校での活動報告& アンケート 結果 [セクハラ対策 WG]

文責：古結尚

1.5.1 夏の学校で行ったこと

夏の学校で行ったことは、以下のことでした。

- 女性に対する注意メモの配布。
- 相談窓口の開設。
- 参加申し込み HP に、去年のできごとと注意の呼び掛けの文書を置いた。[準備校]
- 女性フロアに「男子禁制」の立て札を置いた。[準備校]

1.5.2 相談窓口の活動報告

窓口に寄せられた相談は 1 件でした。

- 酔った男性が男女構わず抱きつき、多数の人間が不快な思いをした。なおこの男性は途中参加で事情を全く知らなかった。

相談に対し、以下の処置をとりました。

- 相談翌日 (8 月 6 日) の講義前、相談の報告と注意の喚起を行った。
- また同日 (8 月 6 日) の夕刻 (19:50 ごろ)、酒を飲む場合は節度を守るように呼びかけた。

今回の相談をふまえ、再発防止のために必要なこと:

途中参加者に対する説明

1.5.3 茶話会

茶話会を三者共通講義後の空き時間に開きました。

参加者は 10 名強、うち M1 が 5 人程度でした。

また、来年度窓口を引き受けてくれる人がいました。

茶話会では以下のようなことについて話しました。

1. 今回の夏の学校の雰囲気
 - 緊張感があってピリッとしている。
 - 去年と比べて雰囲気が変わった。
2. 窓口やメモ等の対策についての感想
 - 準備校が作った、女性フロア前の「男子禁制」の立て札はかなり効果があった。

- メモの内容は、厳しいものではなく、かつ効果に十分だった。*
- 窓口は、担当に女性がいてくれないと話しづらい。
- 窓口の部屋があるだけで、予防になる。(男性が窓口の部屋の前で「ここが窓口だよ」とビビっていた)
- 「飲み部屋」を設けてそれ以外では飲まないようにするのは、寝る人にとっても良いのではないか。(賛否両論あり)

* アンケートでは、「ケンカを売られた気がした」という意見もありました。

3. 一般にいやだと思うこと

- 体や髪を触られる
- 視線が変なところに行っている
- 下ネタ等の変な話をする
- 顔や服装についていろいろ言われる
- 露天風呂に入ってくる
- コラージュした画像を研究室に貼る

1.5.4 対策に関するアンケート結果

- 女性のほとんどが「窓口は利用しやすそうだった」と回答した。
(2割の男性は「利用しにくそう」と答え、理由の一つとして「相談時に男性がいるから」と挙げていたので、相談時に男性が同席するかどうかについては検討の余地があるでしょう)
- 8割以上の人が「来年も窓口は必要」と回答した。
- 回答したほとんどの人が、「注意メモが予防に効果があった」と答えた。

第2章 2002年度夏の学校予算案【2002年度三者センター校(京都大学)】

文責: 東 武大 (京都大学・素粒子論 D1)

2002年度三者センター校は、次の収支で予算を編成することを提案する。それぞれの詳細に関しては、以下の項目で記述する。

収入	1,000,000 円
支出	2,000,000 円
収支	- 1,000,000 円

なお、後述するように不足分は、繰越金より 1,000,000 円を償却する予定である。以下、本予算案では比較のため、昨年度予算案及び決算についても並列して記載するが、昨年度分については、

本議案書 1.2. 節の決算見積もり (2001 年度三者センター校大阪大学報告分)

より引用をするものとする。

2.1 収入予定

2001 年度夏の学校の三者総会で取り上げたように、現在原子核三者若手は約 280 万円の繰越金が存在している。2002 年度三者センター校はこの問題に対処すべく、今年度は従来援助を受けてきた素粒子論グループ (以下、素 G) および基礎物理学研究所 (以下、基研) からは援助を辞退し、その代わりに繰越金を償却していくことを大まかな今後の方針とすることを提案し、この方針は夏の学校の総会で承認された。そこで、2002 年度三者センター校は、以下の予算編成を行なう予定である。

	今年度収入予定	前年度決算
基研 (旅費)	0	484,640
基研 (印刷費)	100,000	46,200
素 G	0	450,000
参加費	900,000	873,000
合計	1,000,000	1,853,840

1. 2002 年度は繰越金より 1,000,000 円を償却する予定である。

2. 原子核談話会、および高エネルギー研究者会議については、昨年度の交渉では、「講師を引き受けて下さる方々には、なるべく自分の科研費から費用を捻出してほしい」ということで承認を頂いている。
3. 2002年度三者センター校は、RCNPとKEKにも援助要請を行なう予定である。

2.2 支出予定

	今年度予算案	前年度決算
三者役職校	261,500	295,488
パート	*1 38,000	83,395
講師旅費	*1 700,000	81,480
ポスター印刷費 *2	—	46,200
旅費補助	1,000,500	1,403,780
合計	2,000,000	1,910,343

1. 従来は原子核パートの Review Talker 及び Topics 講師に対する補助は、原子核パートの予算として申請していたが、今年度は講師旅費として処理することにする。これらの費用は各パート及び三者共通講義の講師と同等の算定基準に基づいて支払う。
2. 2001年度予算及び決算では、ポスター印刷費は準備校の予算に含めていないが、2002年度予算ではポスター代は三者準備校の予算に含めて記述をしている。

三者役職校の予算案

	今年度申請額	前年度決算
三者センター校	3,500	2,880
三者準備校	253,000	*1 287,618
三者事務局	5,000	4,990
三者名簿校	0	0
三者 ML・HP 校	0	0
三者予算合計	261,500	295,488

1. 2001年度予算および決算の項目には、三者準備校の予算にポスター代は含まれていない。また、ホテル前金は一時借入金であって純粋な支出ではないため、ここでは含めないこととした。

- 三者センター校:

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
振込手数料	1,000	10,000	1,120
録音関係費	500	0	0
文具代	1,000	0	0
コピー代	0	0	1,080
トラペ代	0	0	680
郵送費	1,000	0	0
合計	3,500	10,000	2,880

- 三者準備校:

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
下見・契約代	20,000	35,000	36,570
郵送料	35,000	35,000	37,523
コピー代	60,000	50,000	42,000
文具代	10,000	10,000	15,005
リース代	78,000	0	133,000
ポスター代	50,000	—	—
印鑑代	0	0	23,520
手数料	0	0	0
ホテル前金	—	*1100,000	*1100,000
合計	253,000	230,000	387,618

1. ホテル前金は一時借入金である。このため純粋な支出は、287,618 円となる。

- 三者事務局:

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
コピー代	4,000	3,500	4,800
切手代	500	1,000	120
振込手数料	500	500	70
合計	5,000	5,000	4,990

- 三者名簿校: 予算申請なし

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
合計	0	0	0

- 三者 ML・HP 校: 予算申請なし

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
合計	0	0	0

各パートの予算

	今年度申請額	前年度決算
素粒子パート	20,000	17,000
原子核パート	*18,000	61,745
高エネルギーパート	10,000	4,650
パート予算合計	38,000	83,395

1. 原子核パートの Review Talker 及び Topics 講師に対する補助については、「支出予定」のコメント参照

● 素粒子パート事務局:

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
通信費及び印刷費	1,000	0	0
合計	1,000	0	0

● 素粒子パート準備校:

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
録音関係費 *1	10,000	20,000	14,100
通信関係費 *2	2,000	5,000	1,150
消耗品代	2,000	0	0
研究会費	5,000	15,000	1,750
合計	19,000	40,000	17,000

1. ビデオテープ、カセットテープ、カメラ用テープ代等

2. テープの送料等

● 原子核パートセンター校: 予算申請なし

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
合計	0	0	0

● 原子核パート準備校:

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
Review Talker への謝金	—	30,000	30,000
Topics 講師への謝金	—	30,000	30,000
諸経費	0	10,000	1,675
文具代	3,000	0	0
コピー代	5,000	0	0
振込手数料	0	0	70
合計	8,000	70,000	61,745

- 高エネルギーパート準備校:

申請項目	今年度申請額	前年度申請額	前年度決算
トラペ郵送費	10,000	20,000	2,480
コピー代	0	8,000	2,050
振込手数料	0	0	120
合計	10,000	28,000	4,650

第3章 2002年度 三者準備校（名古屋大学）からの議案

文責：三島 智（名古屋大学）

3.1 2002年度夏の学校、開催地及び日程について

2002年度の夏の学校について、以下のような提案をする。

1. 開催地：パノラマランド木島平（2001年度と同じ）
（長野県下高井郡木島平村上木島 3878-2）
2. 日程：2002年8月1日（木）から8月7日（水）まで。

日程についての補足説明：

夏の学校は例年7月下旬に開催されていたが、2001年度は、以下の2つの理由により、実験的に8月上旬に開催された。

- 実験に関わる学生にとっては、実験施設がシャットダウンする8月のほうが参加しやすい。
- 7月では、まだ授業の終わっていない大学がある。

高エネルギーパートについては、参加人数の増加が見られた。しかしながら、その成果に関してはまだ断定できない部分が多い。そこで、2002年度も2001年度同様8月開催とし、様子を見ることが適当であると判断した。

3.2 夏の学校での飲酒について

2001年度夏の学校では、期間中の禁酒措置はとられなかった。しかし、準備校の主催する行事（開校式、M1 懇親会）において、準備校側で酒類を用意するということには行われなかった。2002年度準備校は、2001年度準備校と同様の姿勢を継続する。